となった。いふまでもな

說社

朝鮮ご三審制度ご

たのであつて、今回朝鮮もこれ

んとするものである。

はならぬ。要は三番制が二番

最尚可令官 反樞軸軍首腦部任命

裁判が三者制から一者間に聞

昆明敵飛行場を壓す陸鷲の編隊

陸軍省檢閱濟

裏が | 連続とするなめで 的は治安の確保と司法

ち尾機関制度では製作員場

-八機を撃墜 **** 海鷲マーカス附近連爆

完璧の邀撃に敵恐怖 る療験も一般と頻影放烈を極めて | 五数が来襲して來をが、鑑いて空

(繭)に進攻

來襲機は著しく減少

シャン州政廳開廳式

急近の活動水域は不明である を、関鍵は排水**動一、四**七五トン

地方總督にウ内

相

かる古三日聚活園建た開催、ガラ トルコ緊急閣議

機機

のが観察を

九骨成#金

骨髓 炎·骨膜炎關節炎·骨軟化症 科の機械者金井良太郎博士の製料で概に定野ある成形だった。電影外 れ等、骨の病の家庭療法療とし

であらゆる者の気を見してもなる。 初めての方へは、金井良太郎政

大地 (乗の海の三部は) 別子を一 者に高げれてあます。 者は、東京市小石川県小日南台町 - 雅に戦争込みでさい。 11丁目571三番地、粉木コンパー 人一層限り演星いたします。 常郷

骨の病の手篇法、樹干進星

通信互業

支置刑

機不製したが、海獣はその音楽を でもしめた、翌十六日未明再いすー である。

氣東京 素京 表示

來職したが、推軍政闘機隊はでの ツブ、タロ学局にPB2 Y 甘樂が

や五日朗マーシャル脂菌マロエラ

一あらゆる計算事務の機械化兵器 ・カタロク回名・

・ 一般を郵砂して製造した。 ・ 一般を郵砂して製造した。 ・ 一般を郵砂して製造した。

B2戦場連合処世級は三回にわた

(本数 東京市京福祉

伊を網路、一次に製造を各級製造を のは、一次に、対する大型には14 を網路、一次に製造を のはマーツ・水温器でロエラップ、タロト島に2040(海深ツ・ 海軍中側摩はその一般や解塞した。 2・7、タロト日で提出では をのつて深麗したが、電車中盤 はない。同日とのとのなりを発達 しなど、同日とのとのかずうに設 しなど、同日とのとのかずうに設

ロキナ激戦績く が『診敵新企圖を包藏

商者なり 変い。同、延廿一巻、わばろ原と 変か。同、延廿一巻、わばろ原と

ゼルマ方面。

を職職したを職職した

市民は勝てり

をしると

「概相ゲツベルス億士は廿四日午後 「ベルリン廿四日同盟」 ドイツ軍

はたらく姿

國第方面は難比なく敵機のゲリシ

支那方面

北佛印泰方面

ません

ものはあり

より美しい

に『戦慄の島

海海

パピリオクレー

2,

お肌の爲に

メン層方地區に3VVでさる7、5m空隙架網兼取が終り下空域隙とで収重空機、自動車「棚を大・水バー下譜路マキン・タラフ開路が変更した。

中部太平洋面 | 東三平名、監察員

肺患と榮養

電差により迅速に快力に向けしめる 昭化學効果は病源へ觸れ、肉糖を 個に現下の困難に結核患者の孽**後間**

表にとり「歌」 元日以来猛地 億同期の血

ない、ベルリンは基大な損害をない、ベルリンは基大な損害をより億大により難しく再避するため一切の手間が無々もあられてめ一切の手間が無くもあられて

機を喪失

樂選

★専門藥を、書、差上げす★へ 一種 一種 一角 の カヘ

やつめ鰻精

散 節 剤 剤

軍の非人道的領域に對しドイツ軍(リスポンド四日同盟)反稱軸空



合せのため東上中のところ廿日

化工薬品の増産

營國理事長懿

第二回割增金附定期預金| <u>特別強調期間</u>第一回割增金附愛國債券|

自十二月廿六日 至十二月世一日 六日間

||お早く御申込下さい



空日本320

現在の融資方法に思い切った

魂

は、る 敵 空 軍の はなっして育てられてあるか……。 無 る 敵 空 軍 飛行機は戦略を變へた

座 治 明 場 場 日京 劇

籫 若

劇 京 城

宋 漢 注 印 即 株 式 會 社

播本恒太

噶島 興、甫傳五聚八場 曾七日-廿九日 **夏 秋風感別曲** 場劇一

略和中人年十二月二十五日

皆仕候也

配名變更謹告

京城府中區太平瀬二丁目一番地

東洋オフセツト印刷株式會社

東一唱劇園、海 一第

26

劇画高 場劇陸大

場劇洋東

場劇花桃

一十二日ヨリニ六日を 一十二日ヨリニ 館樂喜館花浪

帝朝朝朝朝

座寫新

■主

朝鲜金融图

團府

座日朝

館畵映信和 場劇央中 場劇南城

第二十二日ョリ十六日マデー第四本大郎の川田芝子 ははに 東京本 北 とはに 東京本 記 に 東京本 記 に

一念は二分散を

争議頻發に悩む米英

櫻井

繰り囲れのお召に聞へる豫解訓練が観然の雄叫びを駆け

の避番解疫が廻って一番りかくつて層間りをする、夜間一葉てついた大地を踏一てくはいかん、腕を立てるとうい

大阪側成を採られた機能の下には中

開催に関係と起床

培ふ皇軍の素地

恵氣すでに應召の氣構

教 宮 長、暖り切 めてゐた蘇氏等は東章くよるョット

ある、過去に於て駆び來つ

の精神の前には如何に聞い

角

帽 をかぶつた

すわつた元気な野で報告が行はれ

たノ表門立哨中異狀なしく腹に

時の数を監板する巡察時板は自 9、腰中電筒の光に浮き出された

> をするんだ。そらかうして左手を 歩一帽の影響

開はその一颗酸の代表者だ、そ

一般の単紀の程度が知れるぞう たはりを確めて説いてゐた。お

の 服装が みだれてゐたんで

てゐた細部の酸格な缺である、然 る、過去の昼夜歌歌では見述され 帥走の街に査察隊

##1260 | 隊小賣商を電撃

海相

高級酸は日曜を甘六日も行【東京町店】帰田産和は廿五日午一大が將瓜を訪問、京郷に脳波の評し、日前に関する時はれた。 な 大木絵 四」を「訪問」 ラワ・マキン健職隊司令「監督隊」

柴崎邸を訪問



無関から取別へ、無烈なる決戦第二年の歩武は堂々と墓びの

東丘訓練の令版は繰り、明歌県人館門を覆る半島最近に征きる牧、内地在最大最高媒際を聞い、明歌県人館門を覆る半島最近に征き

への強闘訓練たる阿鮮感管所特別志願風徒臨時休成所が京

週間を馴して軍人刺論を

は御桐の眺を決し今を出々魔として祖國の急い

國民縣力朝鮮、京畿、京城府三聯

日赤救護看 プ、村田アサチ、王野トシチ、谷本潤子、佐土島幸子、三宅ノ 部では來る

算線域際の一員に加はり翻脳の國 器術構造等があつたが 間交一氏の一

敞米國の實情

が永久につざけられ而も品種の一部が電話」相子学なしに甘辣栽

日常

つれるでロ

八人自宅に大日正午よく彦三郎氏は、本年七七年 特別 研究 生 夢 集 御 原 第 三 回 場 御 殿 第 三 回

希證 × 望衝切

本域府中區南金町四丁目 省は寫眞添付履歷書郵送のこと 像 正月十五日正午 の 上月十五日正午

劇

除

事

課

になって下さい」と概相はすぎし れたことをよく守られて立派な人 一人に『お父さんから日頃教 怪奇首無 入形

原く騒紀 一千八日四年の元旦を迎へ振みて服務の腐敗を帰る を主に大東亜町が第三年、 東勝の年に看り一個瀬田町の 東京を間の駅の観灯攻をあくまでも職職し以て曜古の聖愛を

いごとになった。このほか元目には出來るをけ神宮、神群、である、なほ常日に限り午前八時の宮城繼ばはこれを行はな 即詞に参照、天場無錫を脈顕すると共に網對必勝を順前に容

管國常能以下神猷に於て執行される蒙旦祭には全愛國班

兀旦端半島の總遙拜

の新春

ペツタンコーペツ

力が確つてル・チャの頭をこ

事試験場、暴枝の栽培指導に留る

ヨイ子の赤誠

ないへは打下了れても思いず

に行からッ語の**即様だ**々と折批つ けらればの瞬節として。空間子道殿

金一千國を結束職祭署へ

欧金智武

らくが、今日も指

何で感謝せずにゐ

に新春のむひがたつ、郡か來

玉碎に應へて

で、決勝の新年が來る、くこん

既が追載出來るなんて有限

の至時は増を切つて飛行機型的音一句的観金した

単簡テ庭家ズヒ用 3糖砂

水揚げ

七百萬圓

素の飴

店支城京社會式林産物藤加・元素發

指氏は、メラワ、マキンBの我 國國 冒田里,鄉丞納齊去川上

た十一國を僅かながら軟

屋士富

が宮城に耐し等り調器除する國民客院の時間は元旦午前 果正共衆國典数に逃避せんとの撃ひも新たに半島に干五

シ、電影響

り大きくなつた男君に服き「もうかに一々大きく題き見越へるばか

ったが、今は元氣がね」と盛しく

日午後三時半から城大

お正月の台所へお年玉

州が心遣りの品々近く家庭へ

平道院の貯蓄駅、大東距戦年國庫の窓口から一斉に費出された今 「元山」去る一日から金川各宮间

配置なる

和順至

申合社問

ると同時の上之が

で百二萬二十五百六十七個にな

價券消化に凱歌

でまったは瞬間者は脳盟関係節員

多收穫の栽培法

お芋の神様 原さんの研究

関増産の要請切なると者に公開さ

【統営】狭戦下戦力増頭に拍車 と第5年8世を相合教院成すること ・19年8年 日本の一大工人の人類 に決定したのでお正月 は心配無用

民の食職に久し振りに中欧の組織 時から通信技術戦機に推 作が供へられることとなった 東京 開源 個々しい間 八旦子朝十

「東京電車」 が正は地震 が正は地震 が正は地震 なった第一回なった第一回

は光州府 德永川兒科 医学博士 中橋幸馬 西小門町四一

恢也 間生前中ノ御交誼ヲ 深め致 口日 午後七時心 殿厰庫ニテ 夫作郎吉吉











20 初年月収賞順共の日本・大工の任務が 大正の必要機関完備 大正の必要機関定の 大正のを 大正の 大正のを 遇驗格 簡単なる・醫取・作文・口述為二十級以上四十級近

(管祭)官講習自所(京城光化門頭·城光一〇〇〇) 舞週日曜·於舊所 志願書。履曆書。寫眞。肇記用具幾得午前八時出頭 軍化して、鼠鰧の上部長・順次警郎補 置船警備で記道算)支給

內地人營察官大寨集

輕金屬株式會社 楊市工場

殿線部長

業御案內

九月廿日現在)

京城支店 京城府 中區 黄金 町大阪支店 大阪市東區 今橋二丁目東京支店 東京都日本橋區茅場町一丁日東京支店 東京都日本橋區茅場町一丁日本 — 店 東京都郷町區大手町二丁目

新設會並大和證券株式會社

株式會社 日本信託銀行

顧賜り度此段御挨拶旁護舌仕様 藤本證券株式會社

の生産者

類似品アリ富士屋」の御注意

は現在の原形の

挺身可住候像御高承ノ上何卒倍裔ノ御眷本交店共ニ營業ヲ開始戦時下證券報國ニ本交店共ニ營業ヲ開始戦時下證券報國ニ本交店共ニ營業ヲリ・一月廿七日ヨリ行業務ヲ除ク)ヲ継承十二月廿七日ヨリイ業務(銀ー・一日の一日の

謹 告,

働く樂しさに胸

繊手敢鬪のジヤワの糸姫達

米英を微塵に砕く科學陣に

今年こそ敵を必殺

精神力と技術で完勝

人學試驗 三月十十二十一日 東京•神戶

一月五日官報多服) || 資縣 日浦線大岡山驛下東

海帝都等洋裁學院

震組

組

旅気での世帯館具合

貸衣裳

报曲忠臣裁 # b | 圆

原名 採用 附 倉間 水 の頭痛"ノーシン)







集募大工智見管鋼本日常 **應察資格 神**奈川縣川崎市協切

京城職業紹介所 養 編 (1) 土頂 1 十四日 電子 (1) 土頂 1 日 電子 (1) 土耳 1 日 田 1 日 田 1 日 田 1 日 田 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 1 日 日 1 日